

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	サロンマナーⅠ		
必修選択	必修	(学則表記)	サロンマナーⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	2	30
使用教材	サービス接客検定公式テキスト 3級 サービス接客検定実問題集 3級 就職ハンドブック			出版社	早稲田教育出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける				
到達目標	サービス接客検定 3級に合格する。 美容の現場で敬語の使い方ができるようになる。社会人としてのマナーを身につける。				
評価基準	テスト 50%、課題・提出物 30% 授業態度等 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	サービス接客検定 3級				
関連科目	就職対策				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	西 友紀 他 1 名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ビジネスマナーとは	授業の目的・到達目標について ビジネスマナーを学ぶ意味を知る
2	サービススタッフの資質	サービス業界で求められているものについて
3	サービススタッフの資質	必要とされる要件の復習・従業要件について
4	対人技能（敬語）①	様々な接客用語・敬語について
5	対人技能（敬語）②	尊敬語・謙譲語・二重敬語について
6	対人技能（一般的なマナー）	動作を行う際の基本・ポイントについて
7	専門知識・一般知識	サービス知識、従業知識、一般知識について
8	対人技能①	人間関係について

9	対人技能②	一般的なマナー・接客者としてのマナーについて
10	対人技能③	話し方について
11	実務技能①	問題処理について
12	実務技能②	環境整備・金品管理について
13	社交業務	社交儀礼の業務について
14	総復習	1～13回までの総復習
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	サロンマナーⅡ		
必修選択	必修	(学則表記)	サロンマナーⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	15
使用教材	サービス接遇検定公式テキスト3級 サービス接遇検定実問題集3級 就職ハンドブック			出版社	早稲田教育出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける				
到達目標	サービス接遇検定3級に合格する。 美容の現場で敬語の使い方ができるようになる。社会人としてのマナーを身につける。				
評価基準	テスト40%、検定試験30%、課題・提出物20%、授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	サービス接遇検定3級				
関連科目	就職対策				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	西 友紀 他1名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	検定対策授業	復習と練習問題
2	検定対策授業	復習と練習問題
3	検定対策授業	復習と練習問題
4	検定対策授業	復習と練習問題
5	検定対策授業	復習と練習問題
6	検定対策授業	復習・検定問題の解答・解説
7	履歴書作成①	履歴書とは、履歴書のマナー、履歴書の書き方について

8	履歴書作成②	履歴書作成
9	社交文書 ①	縦書き・横書きレイアウトについて 文書の種類・文書の構成・頭語と結語・時候の挨拶・前文、末文の慣用句
10	社交文書 ②	郵便の基礎知識～宛名の書き方、返信はがき、お礼状について
11	理想の美容従事者像	お客様から愛され・親しまれる美容従事者について
12	実技演習①「受付～誘導」	受付から誘導のロールプレイング演習
13	実技演習②「面接練習」	面接試験の種類とチェックポイントについて
	実技演習③「電話応対」	面接ロールプレイング
14	実技演習④「お茶出し」	電話のかけ方・受け方、伝言メモ、予約電話のシミュレーション
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	SNS・WEB・フォトスキル		
必修選択	選択	(学則表記)	SNS・WEB・フォトスキル		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	15
使用教材	なし			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界の現状やニーズを把握し、SNS・WEB・フォトスキルを活用したマーケティング・集客を理解し実践できるようにする。				
到達目標	顧客の共感や集客につながるメッセージや写真をTwitter、Instagram、LINE@などのSNSやWEBを通じて発信できるようにする。各コンテンツの基礎知識から運用ルールを把握、理解し、実践できるようにする。				
評価基準	テスト40%、提出物30% 授業態度等30%				
認定条件	・出席が掃除関数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目	フォト＆ファッション				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	WEBマーケティングとSNS	SNSアカウント運用、広告、HP、LPの役割、ペルソナの設定などの基礎知識の講義
2	Instagramマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
3	Twitterマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
4	公式LINEアカウントマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
5	Youtubeマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
6	Facebook/Tiktokなどの各種SNSについて	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
7	炎上防止と炎上があった際の対策	ケーススタディ
8	画像撮影、加工の基礎	講義+実践

9	写真の撮影について	基礎的な技法の講義と実践
10	動画の撮影について	基礎的な技法の講義と実践
11	ライティングの基礎	講義+実践(9回目、10回目で撮影した写真・動画を使ってSNSの更新を行う)
12	ランディングページ(LP)を作ってみよう	SNSで人気のあるLPの紹介と簡易LP構築ツールを使用したLPの作成
13	WEB・SNS広告の概要と基本思想	講義(リスティング、SNS、GDN、YDN)それぞれの効果的な活用方法と特徴
14	WEB・SNS広告、SNSアカウントの分析方法	WEB・SNS広告、SNSアカウントの分析方法を学ぶ
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	カラーコーディネートⅠ		
必修選択	必修	(学則表記)	カラーコーディネートⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	2	30
使用教材	新配色カード パーソナルカラーコーディネート検定テキスト パーソナルカラーコーディネート検定課題集			出版社	日本色研事業(株) クリエスクール

科目の基礎情報②

授業のねらい	色に関する知識、法則、技法を理解する。		
到達目標	パーソナルカラーコーディネート検定に合格する。 美容の現場で色に関して適切な提案ができるようになる。		
評価基準	テスト50％、提出物30％ 授業態度等20％		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	パーソナルカラーコーディネート検定		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。		
担当教員	行徳 ひろみ 他1名	実務経験	○
実務内容	化粧品メーカーで美容部員として20年勤務。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	パーソナルカラーとは、色の連想	授業の目的・到達目標について パーソナルカラーを学ぶ意味を知る
2	色の心理的効果	色の持つイメージと性質、色の心理的効果について
3	色と光について①	色の見える仕組み、光について
4	色と光について②	眼（視覚）のしくみについて
5	色の特徴について①	無彩色と有彩色、三属性について、色相環の作成
6	色の特徴について②	三属性について、色相環・トーン図の作成
7	色の特徴について③	トーンについて
8	配色（色相、トーン）	配色、色相、トーンについて

9	配色（配色の応用、イメージ配色 他）	配色の応用編について 条件にあった配色をつくる
10	対比と同化	対比と同化について
11	混色・慣用色名	混色の原理・慣用色名について
12	パーソナルカラーの基礎①	パーソナルカラーの基礎について
13	パーソナルカラーの基礎② 復習	各シーズンの特徴について、復習
14	総復習	1～13回までの総復習
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムⅠ	
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラムⅠ	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	15
使用教材	7つの習慣Ⅰテキスト、夢のスケッチブック		出版社	FECエデュケーション

科目の基礎情報②

授業のねらい	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する		
到達目標	・「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する ・他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を発揮できるようになる		
評価基準	小テスト／レポート：20％ 授業態度：40％ 提出物：40％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	キャリア支援／就職対策等		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	土屋 正美	実務経験	○
実務内容	美容室・結婚式場でブライダルヘアメイクとして13年勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	未来デザインプログラム授業への価値付けを行い、日誌を書くことの意味や今日から実行できる機会を考える
2	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの概念を知り、自分制限パラダイムを取り払った状態で行動が継続できる様に考える
3	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解すると共に、自分自身への約束を守る大切さを学ぶ
4	刺激と反応	刺激と反応の考え方を理解し、どのような状況でも一時停止ボタンを使い主体的に判断・行動していくことの大切さを考える
5	言霊～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
6	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にし、今自分がやるべき事、考えるべき事を優先順位を考えながら整理していく大切さを学ぶ
7	選んだ道と選ばなかった道	自分の選択は自分の気持ち次第であり、自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
8	「SDGs」とは？	国際目標であるSDGsとは何か？ またそのゴールは何かを学び、自分できることを考える
9	人生のビジョン	10年後のなりたい自分を考えることにより、スタプロで考えた「卒業時の姿」をより具体的に考える
10	自分の価値観を知る	なりたい姿を鮮明にすることの大切さを知り、自分の価値観を深掘りすることで、将来のなりたい姿を具体的にイメージできるプロセスを学ぶ
11	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ。自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
12	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
13	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
14	私的成功の振り返り	主に私的成功の習慣（前期授業内容）の復習（知識確認）
15	成功するための原則	前期の総括とともに、あきらめないことの大切さを考えセルフモチベーションを高める

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムⅡ	
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラムⅡ	
開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1 15
使用教材	7つの習慣Jテキスト、夢のスケッチブック		出版社	FECエデュケーション

科目の基礎情報②

授業のねらい	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する		
到達目標	・「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する ・他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を発揮できる様になる		
評価基準	小テスト／レポート：２０％　授業態度：４０％　提出物：４０％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	キャリア支援／就職対策等		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	土屋　正美	実務経験	○
実務内容	美容室・結婚式場でブライダルヘアメイクとして13年勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
16	Win-Winを考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
17	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
18	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、理解してから理解するという考え方があるということを学ぶ
19	相乗効果を発揮する	多様性や人と違いがあることに価値があることを学ぶ
20	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える
21	過去の自分とこれからの人生	具体的なライフプラン・人生の目的/目標設定を考える
22	人生ビジョンを見直そう	自らが立てたライフプランを現実的な視点から見つめ、必要な軌道修正を考える
23	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高めていく
24	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
25	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
26	XYゲーム	ゲームを通じて未来デザインプログラムで学んだことを常に応用することは難しいということを学ぶ
27	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラム授業で学んだことの復習（知識確認）
28	後期の総括	後期の総括と2年生にむけてモチベーションを高めていく
29	2年生に向けて①	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える
30	2年生に向けて②	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	皮膚学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	皮膚学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	2	30
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅰ・筆記用具・ノート		出版社	日本エステティック協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ ・ 皮膚の基礎知識 ・ 美容上大切な皮膚の6つの働き		
到達目標	肌を美しく健康に保つためのスキンケアの方法をクライアントに提案することができる		
評価基準	筆記試験50％・小テスト30％・授業態度、提出物など20％		
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者		
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン・		
関連科目	生理学Ⅰ・ベーシックエステⅠ		
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。		
担当教員	大場 祐子 他4名	実務経験	○
実務内容	エステサロンにエステティシャンとして勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	皮膚学Ⅰオリエンテーション 皮膚の基礎知識 ①	担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標について解説 1. 生体における皮膚の役割 2. 皮膚の構造と働き (1)～(2)
2	皮膚の基礎知識 ②	2. 皮膚の構造と働き (2) (3) 肌理について
3	皮膚の基礎知識 ③	2. 皮膚の構造と働き (4)
4	皮膚の基礎知識 ④	2. 皮膚の構造と働き (5) 皮脂腺・立毛筋
5	皮膚の基礎知識 ⑤	2. 皮膚の構造と働き (5) 立毛筋 (6) (7)
6	皮膚の基礎知識 まとめ 筆記テスト	成績評価①皮膚の基礎知識 (断面図・名称) グループ

7	美容上大切な6つの働き ①	1、皮脂膜 2、角質バリア
8	美容上大切な6つの働き ②	3、表皮ターンオーバー 4、メラノサイトの働き
9	美容上大切な6つの働き ③	5、毛細血管の働き 6、繊維芽細胞 7、皮膚の働きのバランス 小テスト／テスト返却
10	皮膚の生理作用 ①	皮膚の生理作用（1）～（6）保護・体温調節・分泌・吸収
11	皮膚の生理作用 ②	皮膚の生理作用（7）～（9）ビタミンD合成・貯蔵・知覚／テスト対策
12	筆記テスト 肌の美しさを損ねる要因 ①	成績評価② 筆記テスト 美容上大切な6つの働き 1、紫外線
13	肌の美しさを損ねる要因 ②	2、寒気 3、乾燥 4、加齢
14	肌の美しさを損ねる要因 ③	5、女性のリズム 6、精神的ストレス 7.胃の不調 8、生活習慣 小テスト
15	総合授業	総合復習 まとめグループ 前期総復習（個人）

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	皮膚学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	皮膚学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	2	30
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅰ・筆記用具・ノート		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ ・肌の美しさを損ねる要因・様々な肌状態 ・肌と環境・肌分析		
到達目標	さまざまな肌状態をチェックすることができ、トラブルの原因を説明できる。		
評価基準	筆記試験①②60％・小テスト20％・授業態度、提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン・		
関連科目	生理学Ⅱ・プロフェイシャルⅠ(エステ)・ベーシックエステⅡ(メイク)・フェイシャル＆ボディⅠ(トータルビューティー)		
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。		
担当教員	大場 祐子 他4名	実務経験	○
実務内容	エステサロンにエステティシャンとして勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	皮膚学Ⅱオリエンテーション	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説 前期の振り返り 小テスト成績評価対象
2	さまざまな肌状態 1	1. 肌意識の年代変化 2. 美しい肌
3	さまざまな肌状態 2	3. 衰えた肌
4	さまざまな肌状態 3	4. 色素沈着を起こした肌①
5	さまざまな肌状態 4	4. 色素沈着を起こした肌②
6	さまざまな肌状態 5 筆記テスト	筆記テスト① 成績評価①／5. ニキビ①

7	さまざまな肌状態 6	5. ニキビ②
8	さまざまな肌状態 7	テスト返却 / ニキビ③
9	さまざまな肌状態 / 肌と環境	6. 肌荒れと敏感 1. 肌と地域気候 2. 肌と気象の季節区分
10	肌分析 ・ 筆記テスト	筆記テスト② 成績評価② 1. 目的 2. 肌分析を行う上で考慮すべきポイント 3. 肌質チェック項目
11	肌分析	4. 肌タイプ / 肌分析（実践） 小テスト成績評価対象
12	免疫・アレルギーについて	テスト返却／免疫とは（免疫細胞の種類、免疫システム）／アレルギー
13	様々な皮膚疾患	様々な皮膚疾患 肌分析／肌トラブル（研究）
14	肌分析／肌トラブル（研究）	肌分析／肌トラブル（発表） （ALグループ学習・成績評価対象）
15	総合授業	総合授業を行う ※メイクコース・ネイルコースは総復習を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	生理学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	生理学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	2	30
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅰ・筆記用具・ノート		出版社	日本エステティック協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する ・骨格系・筋系・神経系		
到達目標	体を美しく健康に保つためのボディケアの方法をクライアントに提案することができる		
評価基準	筆記試験①②60％・小テスト20％・授業態度(グループワークor課題作成)、提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン		
関連科目	皮膚学Ⅰ・ベーシックエステⅠ		
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。		
担当教員	小柳　あぐり　他4名	実務経験	○
実務内容	(株)テスワールドにてエステティシャンとして勤務。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	生理学Ⅰオリエンテーション 生命と適応進化の歴史	担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標について解説 1. 生命とは 2. 生命40億年／はるかな旅 3. 生命の適応進化とエステティック
2	生命活動とホメオスタシス 1	1. ホメオスタシスの定義と発見 2. ホメオスタシスの実際 3. ホメオスタシスの具体例
3	生命活動とホメオスタシス 2	ホメオスタシスを制御する仕組み ホメオスタシスを乱すストレス
4	身体の基本 1	ホメオスタシスを乱すストレス 1. 身体の構成 小テスト
5	身体の基本 2	1. 身体の構成 2. 身体的设计図
6	身体の基本 3	3. 身体を構成する物質 4. 血液 物質運搬 筆記試験範囲まとめ / グループワークor課題作成(成績評価対象)

7	骨格系・筋系 1 ・ 筆記試験	成績評価①筆記試験 / 1. 体区分 2. 骨格 (1) ①骨の役割
8	骨格系・筋系 2	2. 骨格 (1) ②骨の構造と代謝 ③関節 ④骨格の構成 (頭蓋骨・脊椎)
9	骨格系・筋系 3	2. 骨格 (1) ④骨格の構成 (胸骨・上肢骨・下肢骨・骨盤)
10	骨格系・筋系 4	2. 筋系 (2) ①筋肉の役割 ②筋肉の種類③骨格筋 ④骨格筋の構成 ⑤速筋と遅筋
11	骨格系・筋系 5	筋系 (2) ④骨格筋の構成 ⑤速筋と遅筋 筆記試験範囲 まとめ / グループワークor課題作成(成績評価対象)
12	神経系 1 ・ 筆記試験	成績評価② 筆記試験 1. 神経細胞 2. 神経系の種類
13	神経系 2	3. 中枢神経 (1) - (2)
14	神経系 3	3. 中枢神経 (3) - (4)
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	生理学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	生理学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	2	30
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅰ・筆記用具・ノート エステティシヤンのための解剖生理学(エステコースのみ)			出版社	日本エステティック協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する ・内分泌系・呼吸器系・循環器系・消化器系 ・生殖器系				
到達目標	さまざまな体質・体型・状態をチェックすることができ、トラブルの原因を説明できる。				
評価基準	筆記試験①②60％・小テスト20％・授業態度(グループワーク)、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシヤン・上級認定エステティシヤン 認定フェイシャルエステティシヤン 認定ボディエステティシヤン				
関連科目	皮膚学Ⅱ・エステティックカウンセリングⅠ(エステ)・プロボディⅠ(エステ)・ベーシックエステⅡ(メイク)・フェイシャル&ボディⅠ(トータルビューティー)				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	小柳 あぐり 他4名			実務経験	○
実務内容	(株)テストワールドにてエステティシヤンとして勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	生理学Ⅱオリエンテーション 末梢神経	担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説 前期の振り返り 末梢神経
2	感覚	1. 感覚～外界情報の収集 (1) - (3)
3	感覚	1. 感覚～外界情報の収集 (4)
4	内分泌系 1	1. 内分泌系の役目 2. 各内分泌腺とホルモンの種類 (1)
5	内分泌系 2	2. 各内分泌腺とホルモンの種類 (2) - (7)
6	筆記テスト / 呼吸器系	筆記テスト① 成績評価① 1. 呼吸のあらまし 2. 外呼吸と内呼吸 3. 呼吸器の構造 4. 呼吸運動

7	循環器系 1	1. 心臓の構造 2. 血液循環 (1) - (4)
8	循環器系 2	3. 心臓の興奮伝達系 4. 血管の種類と構造 5. リンパ系 (1) (2)
9	循環器系 3	4. リンパ系
10	循環器系 4	循環器系 まとめ 小テスト
11	消化器系 1	1. 消化作用 2. 消化器系の構成 (1) - (4)
12	消化器系 2	2. 消化器系の構成 (5) - (7)
13	テスト / 泌尿器系	筆記テスト② 成績評価③ 1. 腎臓とは (1)
14	泌尿器系 / 生殖器系	1. 腎臓とは (2) (3) 2. 副腎とは 1. 月経のメカニズム 2. 妊娠 3. 胚葉分化
15	総合授業	総まとめを行う 感覚／内分泌系／呼吸器系／消化器系 まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	栄養学		
必修選択	選択	(学則表記)	栄養学		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅱ			出版社	日本エステティック協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する ・ 5大栄養素・栄養所要量・食物摂取とその消化吸收				
到達目標	栄養学の基礎知識を理解し、食事と健康・ 5大栄養素 ・ 栄養所要量についてアドバイスができる				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	齋藤 美穂子 他2名			実務経験	○
実務内容	大手エステサロンにてエステティシャンとして勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション
2	栄養学の基礎知識 5大栄養素 1	1. 栄養素の種類 2. 5大栄養素 (1)
3	栄養学の基礎知識 5大栄養素 2	1. 栄養素の種類 2. 5大栄養素 (1) 蛋白質
4	栄養学の基礎知識 5大栄養素 3	2. 5大栄養素 (2) (3) 脂質
5	栄養学の基礎知識 5大栄養素 4	2. 5大栄養素 (2) (3) 糖質
6	栄養学の基礎知識 5大栄養素 5	2. 5大栄養素 (4) 炭水化物
7	栄養学の基礎知識 5大栄養素 6	2. 5大栄養素 (5) 無機質

8	栄養学の基礎知識 5 大栄養素 7	2. 5大栄養素（5）ビタミン
9	5 大栄養素 まとめ	まとめ
10	筆記テスト	栄養素の種類・5大栄養素 成績評価①
11	栄養学の基礎知識 栄養価 1	3. 栄養価
12	栄養学の基礎知識 栄養所要量 2	4. 栄養所要量（1）基礎代謝
13	栄養学の基礎知識 まとめ	まとめ
14	栄養学の基礎知識 消化吸収	5. 食物摂取とその消化吸収（1）（2）
15	筆記テスト	栄養価・栄養所要量・食物の消化吸収 成績評価② 総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	栄養コンサルティング		
必修選択	選択	(学則表記)	栄養コンサルティング		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅱ エステティシヤンのための栄養学			出版社	日本エステティック協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。 ・栄養学から見た食品 ・健康と栄養・サプリメント・食品添加物				
到達目標	栄養学の基礎知識を理解し、健康と栄養・サプリメント・食品添加物についてアドバイスができる				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシヤン・上級認定エステティシヤン 認定フェイシャルエステティシヤン				
関連科目	エステティックカウンセリング(エステ)				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	齋藤 美穂子 他2名			実務経験	○
実務内容	大手エステサロンにてエステティシヤンとして勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	栄養学Ⅱオリエンテーション	前期の振り返り
2	栄養学の基礎知識 消化吸収	5,食物摂取とその吸収
3	栄養学の基礎知識 食品 1	6. 栄養学から見た食品 (1)
4	栄養学の基礎知識 食品 2	6. 栄養学から見た食品 (2)
5	栄養学の基礎知識 食品 3	6. 栄養学から見た食品 (2)
6	栄養学の基礎知識 食品 4	6. 栄養学から見た食品 (2)
7	筆記試験	まとめ/成績評価①

8	健康と栄養 1	1. 栄養状態の判定 2. 肥満
9	健康と栄養 2	3. 中・老年期の栄養
10	健康と栄養 3	4. 美容と栄養
11	健康と栄養 4	まとめ
12	筆記試験	栄養学の基礎知識（10月－11月分）健康と栄養 成績評価②
13	サプリメント	サプリメント
14	食品添加物	小テスト
15	まとめホームケアアドバイス	フェイシャル及びボディシートの ホームケアアドバイス内容

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	香粧品学		
必修選択	選択	(学則表記)	香粧品学		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅱ			出版社	日本エステティック協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。 ・化粧品概論・ネイル、メイク、ヘアケア化粧品・フレグランス・化粧品の原料				
到達目標	化粧品の基礎知識を理解し、安全に使用することができる				
評価基準	筆記試験①②60％・小テスト20％・授業態度、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン				
関連科目	ベーシックエステⅠ・ベーシックメイクⅠ・ベーシックネイルⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	齋藤 美穂子 他2名			実務経験	○
実務内容	大手エステサロンにてエステティシャンとして勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	香粧品学Ⅰ オリエンテーション	オリエンテーション
2	化粧品概論 1	1. 化粧品・医薬部外品と薬機法
3	化粧品概論 2	2. 化粧品の分類
4	化粧品概論 3	3. 化粧品の品質と品質保証
5	化粧品概論 4	4. 化粧品の取り扱い上の留意点
6	化粧品概論 5	まとめ
7	筆記試験	化粧品概論 成績評価①

8	メイクアップ化粧品 1	1. メイクアップ化粧品の目的と働き 2. ベースメイクアップ料 3. ポイントメイクアップ料
9	メイクアップ化粧品 2	着色料について
10	ネイル化粧品	1. ネイル化粧品の目的と働き 2. ネイルポリッシュ 3. ポリッシュリムーバー
11	ヘアケア化粧品	1. ヘアケア化粧品の目的と働き 2. 洗髪料 3. 育毛料 4. ヘアスタイリング料 5. トリートメント長 6. パーマネントウェーブ料 7. 染毛料、ヘアブリーチ
12	フレグランス	1. フレグランスの目的と働き 2. 女性用香水 香水以外のフレグランス商品
13	まとめ	メイクアップ化粧品・ネイル化粧品・ヘアケア化粧品・フレグランス総合まとめ
14	筆記試験	メイク・ネイル・ヘアケア化粧品・フレグランス 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	コスメティック理論		
必修選択	選択	(学則表記)	コスメティック理論		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅱ			出版社	日本エステティック協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	化粧品 の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。・フェイシャル、ボディ化粧品 ・化粧品に用いられる薬剤とその働き				
到達目標	化粧品の基礎知識を理解し、安全に使用することができる				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン				
関連科目	エステティックカウセリング(エステ)・プロフェイシャルⅠ・プロボディⅠ(エステ)・ベーシックⅡ(メイク)				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	齋藤 美穂子 他2名			実務経験	○
実務内容	大手エステサロンにてエステティシャンとして勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション 前期の振り返り
2	フェイシャル化粧品 1	1. フェイシャル化粧品の目的と働き 2. 洗顔化粧品
3	フェイシャル化粧品 2	3. 整肌化粧品
4	フェイシャル化粧品 3	4. 賦活化粧品
5	ボディ化粧品 1	1. ボディ化粧品の目的と働き 2. 洗淨料
6	ボディ化粧品 2	3. シェイプアップ料 4. サンケア料
7	ボディ化粧品 3	5. 制汗・防臭料 6. 浴用料 7. 脱毛料

8	筆記試験	フェイシャル・ボディ化粧品 成績評価①
9	化粧品の原料 1	1. 化粧品の使用目的と剤型タイプの特徴 2. 水性原料 3. 保湿剤
10	化粧品の原料 2	4. 油性原料
11	化粧品の原料 3	5. 界面活性剤 6. 高分子化合物 7. 着色料 8. 香料
12	化粧品に用いられる薬剤とその働き 1	1. 紫外線カット剤 2. 酸化防止剤 3. 防腐防カビ剤
13	化粧品に用いられる薬剤とその働き 2	4. 美白剤 5. 肌荒れ防止剤など 6. ニキビ用薬剤 7. 制汗防臭剤 化粧品の原料 薬剤とその働き
14	筆記試験	化粧品の原料 薬剤とその働き 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック概論・衛生学・関連法規Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック概論・衛生学・関連法規Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅲ			出版社	日本エステティック協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。				
到達目標	エステティックに関わる法律を理解し、安全に施術を行うことができる				
評価基準	筆記試験①②60％・小テスト20％・授業態度、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	齋藤 美穂子 他2名			実務経験	○
実務内容	大手エステサロンにてエステティシャンとして勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション エステティックの概念	オリエンテーション 1. エステティックとは何か 2. 内面美容としてのエステティック
2	エステティックの本質と領域 1	1. エステティックの語源と歴史
3	エステティックの本質と領域 2	2. エステティックの領域
4	ソワンエステティック 1	1. ソワンエステティックの語源 2. 目的と期待される効果
5	ソワンエステティック 2	3. スキンタッチの重要性 4. 五感美容

6	美と健康エステティシャンとしての心構え	1. 健康美は心身のバランスから 2. ウェルネス 3. アンチエイジング 1. エステティシャンの資質 2. ホスピタリーマインドの意義
7	日本のエステティック 世界のエステティック	1,日本のエステティック 2,世界のエステティック
8	筆記試験	エステティックの概念～エステティシャンの心構え 成績評価①
9	公衆衛生	1. 公衆衛生とは 2. 世界における公衆衛生の歴史 3. 日本における公衆衛生の歴史
10	衛生管理 1	1. 衛生管理全般 2. 消毒方法の種類とその基本的な使用法
11	衛生管理 2	3. 消毒の準備・用具 4. 施術に関わるものの消毒方法
12	感染症 1	1. 感染のメカニズム
13	感染症 2	2. エステティックに関連する感染症
14	筆記試験	前期総合 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック概論・衛生学・関連法規Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック概論・衛生学・関連法規Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	15
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅱ・エステティシヤンのための関連法規、エステティック概論・サロンでの衛生消毒		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。 ・経済行為、人の身体に直接関連する法律		
到達目標	エステティックに関わる法律を理解し、安全に施術を行うことができる		
評価基準	筆記試験①②60％・小テスト20％・授業態度、提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン		
関連科目	エステティックカウンセリングⅠ・プロフェイシャルⅠ・プロボディⅠ		
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型授業形式を併用し、実施する。		
担当教員	齋藤 美穂子 他2名	実務経験	○
実務内容	大手エステサロンにてエステティシャンとして勤務。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 前期復習※エステ実習の為	オリエンテーション 前期の振り返り 3. 消毒の準備・用具 4. 施術に関わるものの消毒方法
2	衛生管理・衛生管理の実践	1. 手指の衛生措置 2. 手指の洗浄と消毒 3. 消毒剤の効果と特徴
3	関連法規関連法規「法」の基礎知識 1	1. 社会生活と「法」 2. 法とは社会規範 3. 法の強制力 4. 法の原則
4	関連法規関連法規「法」の基礎知識 2	5. 日本の資格制度 6. エステティックと法律
5	消費者保護 1	1. 消費者政策 2. エステティックに関連する消費者トラブル

6	消費者保護 2	3. トラブル対応の心得
7	人の身体に直接関連する法律 1	1. 四つの衛生法規 2. エステティックに関わりの深い衛生法規
8	人の身体に直接関連する法律 2	テスト範囲まとめ
9	筆記試験	成績評価① 消費者保護・人の身体に直接関連する法律・法の基礎知識の範囲
10	エステティック業界の 統一自主基準 1	1. 自主基準策定の目的 2. エステティックの定義
11	エステティック業界の 統一自主基準 2	3. 日本エステティック振興協議会の倫理綱領 4. サロン遵守事項
12	経済行為に関する法律 1	1. 商法 2. 集客 3. 個人情報の保護に関する法律
13	経済行為に関する法律 2	6. 消費者契約法 7. 特定商取引に関する法律 8. 割賦販売法
14	筆記試験	成績評価② エステティック業界の統一自主基準～経済行為に関する法律
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックフェイシャル		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックフェイシャル		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	2	60
使用教材	教科書・クリエーナ化粧品セット・タオル類・消耗品類 新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ			出版社	日本エステティック協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャルトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。				
到達目標	ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャルの技術を提供できるようになる。				
評価基準	実技試験80% 授業態度・提出物20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン ajeste認定上級エステティシャン				
関連科目	皮膚学Ⅰ 生理学Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松島 真由美 他2名			実務経験	○
実務内容	業界でのキャリアを15年持ち、(株)テスワールドにてカウンセリング、エステティシャン業務全般に携わり、店長職を経て現在認定講師として幅広く活躍している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ベーシックⅠオリエンテーション/フェイシャルについて	教員自己紹介・フェイシャルエステティックの目的と効果・フェイシャルの流れ 授業準備・ルールについて
2	接客マナー（相モデル）	クレンジング ポイントメイク
3	クレンジング	クレンジング・拭き取りデモンストレーション 相モデル実技
4		クレンジング流れ 通し
5		クレンジング流れ 通し & コットンチェック・仕上げ
6	実技試験 成績評価①	お通し〜ポイントメイククレンジング・クレンジング・拭き取り 仕上げまで 相モデル
7	ディープクレンジング①	サクション(相モデル)
8	マッサージ	マッサージ導入・デモ ご案内ー軽擦法ー強擦法 HOTタオルふき取り 実践

9	フェイシャルマッサージ	マッサージ導入・デモ ご案内ー軽擦法- 揉捏法- 打法 HOTタオルふき取り 実践
10		マッサージ導入・デモ ご案内ー振動法ー圧迫法-全体の流れ HOTタオルふき取り 実践
11		通し練習 ご案内ークレンジングーフェイシャルマッサージ ーふき取りー誘導 実践
12		通し練習 ご案内ークレンジングーフェイシャルマッサージ ーふき取りー誘導 通し練習
13	フェイシャル実技試験 成績評価②	ご案内ークレンジングーフェイシャルマッサージー ふき取りー誘導
14	フェイシャル総合	マッサージ・パック・仕上げ 拭き取り 相モデル
15	総合技術	フェイシャル総合

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックボディ		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックボディ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	2	60
使用教材	教科書・クリエヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	身体や皮膚の生理機能に基づいたボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。				
到達目標	ホスピタリティーの実践、基礎的なボディの技術を提供できるようになる。				
評価基準	実技試験80％ 授業態度・提出物20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシャン・上級認定エステティシャン 認定ボディエステティシャン				
関連科目	皮膚学Ⅰ 生理学Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	日高 由美 他2名			実務経験	○
実務内容	エステティシャン、アロマセラピストとしてスタッフ教育、エステサロンの立ち上げおよび、マネージャーを経験を持つ。20年以上にわたり、“美と健康”の美容世界に携わっている。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ベーシックⅠオリエンテーション、ボディエステティックとは	教員自己紹介・ディエステティックの目的と効果・ボディエステティックの流れ・授業準備・ルールについて（各校）
2	接客マナー（相モデル）	笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい・基本動作・ベッド誘導 前操作 相モデル練習
3	ボディマッサージ 下肢後面	デモンストレーション 揉捻法手前まで 相モデル練習
4		デモンストレーション 揉捻法～最後まで 相モデル練習
5		下肢後面通し練習 体重移動・密着など細かく指導
6		下肢後面通し練習 体重移動・密着など細かく指導
7	ボディ実技試験 成績評価①	1コマ：各自復習・1コマ試験：ご案内－消毒－下肢後面マッサージ－ふき取り－誘導 ×2 クール※相モデル

8		腰背部 相モデルで練習
9	ボディマッサージ 腰背部	腰背部 相モデルで練習
10		通し練習 腰背部～拭き取りまで
11		1コマ：各自復習・1コマ試験：ご案内－消毒－腰背部マッサージ－ふき取り－誘導 ×2クール ※相モデル
12	ボディマッサージ 下肢前面	下肢前面 デモ 相モデル
13		下肢前面 相モデル
14	ボディ実技試験 成績評価③	下肢前面～腹部・腕 テスト
15	総合技術	総まとめを行う 生徒が楽しめるような内容を検討

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックメイク		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイク		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	30
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストベーシック・問題集			出版社	ユアサポート

科目の基礎情報②

授業のねらい	スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。		
到達目標	サービス接客検定 3 級		
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(後期)		
関連科目	メイク＆ネイル		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	行徳 ひろみ	実務経験	○
実務内容	メーカー美容部員で20年キャリア経験を持ち、色彩講師としても業界に従事。化粧品検定協会コスメコンシェルジュインストラクターも保持している。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	スキンケア	スキンケア(手順)、反復練習
3	スキンケア/ベースメイク	スキンケアテスト10分 ファンデーション
4	ベースメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)、ベースメイクの振り返り
5	ベースメイク/ポイントメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)ポイントメイク(アイシャドウ)
6	ベースメイク/ポイントメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)ポイントメイク(アイシャドウ)
7	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
8	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
9	ポイントメイク	ポイントメイク(リップ、チーク、ハイ&ローライト)

10	ポイントメイク	ポイントメイク(リップ、チーク、ハイ&ローライト)
11	フルメイク	ベースメイクから、全てのポイントメイクを行う
12	フルメイク	フルメイクテスト35分×2、ベーシックテクニックの振り返り
13	ソフト	フルメイク(ソフト)
14	シャープ	フルメイク(シャープ)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックネイル		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックネイル		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	2	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルについて歴史などの背景から始まり各部名称や病気・消毒法などを理解し、基礎的なケアカラー技術を実践できる		
到達目標	サービス接客検定 3 級		
評価基準	実技テスト30%、筆記テスト30%、小テスト20%、宿題及び授業態度他20%		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級		
関連科目	生理学・皮膚学		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	徳永 聡子	実務経験	○
実務内容	現場での経験を経て、プライベートサロンを開業し、現在もネイリストとして活躍中。 ネイリスト技能検定1級、ジェルネイル上級、ネイリスト衛生管理士等資格を多数保持		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	教材配布(名称及び説明)今後の説明歴史・技術体系/面取り・ウッドスティック整え方	検定用に名前を付けさせる 今後3級取得までの流れを説明 出来る事でのメリットを伝え、今までの生徒や講師自身の話をする
2	ネイル概論(爪の構造と働き)ネイルの為の皮膚科学/ファイリングデモ実技(トレーニングハンド)	爪の構造・皮膚学(皮膚学の教科で学んでいる内容との相違と不足分を学ぶ) トレーニングハンドを使用し、ファイリングの手順、5パターンのカットスタイルの違いを理解する/ライトを使用する(AL方式)
3	消毒法/テーブルセッティング/ファイリング実技(相モデル)・バッフィング	消毒衛生を理解する/検定に準じたテーブルセッティングを学ぶ バッフィングの方法を学び、実践する
4	ネイルのための生理学I・II/ケア デモンストレーション(プッシュアップ・プッシュバック・ニッパーの使い方) ケア実技	生理学の教科で学んでいる内容との相違と不足分を学ぶ 正しい使用方法、手順を学ぶ ケアだけのデモンストレーションを見せる
5	ケア実技(相モデル)	両手を通しての手順を確実にマスターする
6	化粧品学/カラーリング/デモ シート実技/カラーリング実技(相モデル)	化粧品学の教科で学んでいる内容との相違と不足分を学ぶ シートを使用し、ポトルの持ち方、ポリッシュの量、塗り方を学ぶ(持ち塗り、置き塗り)
7	爪の病気とトラブル/爪の異常/カラーリング実技	爪のトラブルを学ぶ カウンセリング～ケア～カラーリングまでの手順を学ぶ
8	検定注意事項3級検定DVD ケア・カラーリング実技	検定に向けて手順を完全に把握する。必要があればDVDを用いて講義を行う

9	ポリッシュアートとペイントアート/講義・デモ・実技 シート練習/アート練習(チップ)	検定以外の基本のアートを学び、ネイルの楽しさを伝える (フレンチ・シボレー・ファン・マーブル他) アクリル絵の具使用のペイントアートを学ぶ (ドット・ライン・ベタ塗りなどと共に花や葉などの基本形とバランス・色合い)
10	アート練習 カラー・アート(相モデル)	テーマを決めアート練習 ※チップにラウンド・アートの宿題
11	ケア・カラー・アート実技 筆記試験対策	手順がきちんと身についているかを確認する ※チップにラウンド・カラー・アートの宿題 筆記試験対策を行う
12	検定実技 (タイムトライアル)	検定技術をマスターする ※チップにラウンド・カラー・アートの宿題
13	実技試験 (テスト)	夏休みの課題を与える 検定合格に向け、実技チェックを行う
14	筆記試験 (テスト) 検定実技	手順/用具の使い方/衛生面を重視してチェックする ※チップにラウンド・カラー・アートの宿題
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	モデル入門		
必修選択	選択	(学則表記)	モデル入門		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	30
使用教材				出版社	特になし

科目の基礎情報②

授業のねらい	モデルに必要なことを学ぶ（基本姿勢・歩き方・ルールやマナー・業界知識）				
到達目標	モデルを目指さない子もモデルのことを知り理解する。				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	4科目（ウォーキング、ポージング、ナレーション、ファッション）による総合授業原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	Fashion	第一印象
2	Fashion	カラーの影響
3	Fashion	ファッション
4	Fashion	（小テスト）面接に必要な自分自身
5	Fashion	プロポーション
6	オーディション書類基礎	書類写真の選び方
7	オーディション面接基礎1	（小テスト）基礎ポージング、写真を撮る
8	オーディション面接基礎2	好感度UP
9	オーディション基礎総復習1	自己PR力UP

10	オーディション基礎総復習 2	オーディションDVD、実践練習
11	芸能事務所の選び方	(小テスト) オーディション体験
12	主な芸能事務所について	今の事務所について
13	ファッションのプロになる	ファッションについて学ぶ
14	テスト	テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボディメイキング		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディメイキング		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	30
使用教材	ボディウェイト・コントロール			出版社	有限会社ラウンドフラット

科目の基礎情報②

授業のねらい	運動を中心とするボディメイキング（有酸素運動、レジスタンス運動、コアトレーニング）の考え方と方法を学ぶ。 また、女性が陥りやすい肥満について原因と状態を把握しカウンセリング能力+指導実践能力を身につける。				
到達目標	クライアントの状態・目的に合った運動アドバイスができるようになる。また自身の体を鍛えることでマッサージ能力の向上を目指す				
評価基準	実技試験・筆記試験80％(成績評価全2回実施)授業態度・提出物20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン ajeste認定上級エステティシャン				
関連科目	生理学Ⅱ・エステティックカウンセリングⅠ・ベーシックボディⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	宮本 清子 他2名			実務経験	○
実務内容	リラクゼーションサロン、エステサロンで勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション ボディメイキングとは ストレッチ運動（毎回の授業で実施）
2	自分を知る	肥満の原因・個人差について 体脂肪・BMIについて 第一回体重・体脂肪測定・目標設定
3	運動の役割と筋肉	減量における運動の役割・マッサージ実践に当たって鍛えるべき筋肉とは
4	ストレッチ	ストレッチの理論と種類と実践
5	有酸素運動の実践	有酸素運動の理論 効果的な種類・実施時間・速度・頻度など 各校の設備で可能な有酸素運動の実践
6	インナーユニット	インナーユニット コアトレーニングの効果と実践
7	成績評価① 部位別・世代別に有効な運動	成績評価①筆記テスト 1～6回までの範囲で実施 レジスタンスの理論 効果的な種類・実施時間・回数・頻度など
8	部位別・世代別に有効な運動（本人のINBODY測定：2回目）	レジスタンス、体力、性別の効果的な運動理論と運動の実践 種類・実施時間・回数・頻度など

9	部位別・世代別に有効な運動/レジスタンス運動・処方編（スリムアップ）	レジスタンス、体力、性別の効果的な運動理論と運動の実践 種類・実施時間・回数・頻度など
10	部位別・世代別に有効な運動 レジスタンス運動・実践編	レジスタンス、体力、性別の効果的な運動理論と運動の実践 種類・実施時間・回数・頻度など
11	部位別・世代別に有効な運動/コアトレーニング・処方編（本人のINBODY測定：3回目）	コアトレーニングの部位、体力、性別の効果的な運動理論と運動の実践 種類・実施時間・回数・頻度など
12	部位別・世代別に有効な運動 コアトレーニング・処方編	コアトレーニングの部位、体力、性別の効果的な運動理論と運動の実践 種類・実施時間・回数・頻度など
13	部位別・世代別に有効な運動 コアトレーニング・実践編	コアトレーニングの部位、体力、性別の効果的な運動理論と運動の実践 種類・実施時間・回数・頻度など
14	ボディメイキングの総合処方とカウンセリング/成績評価②（本人のINBODY測定：4回目）	成績評価② 相モデルで実施。カウンセリングを実施し相手の悩みに沿った運動を処方し実践。 その結果を成績評価とする
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	30
使用教材	サロン商材一式・AEAテキスト　サロン運営			出版社	日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身に付ける				
評価基準	筆記試験80%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	原尻　奈都美　他1名			実務経験	○
実務内容	サロンにてエステティシャンとして勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	自己紹介・サロンワークとは
2	エステティック産業	職業能力評価基準に基づいた求められるエステティシャンの基準やニーズの高いエステメニューや機器を知る
3	サロン開業シュミレーション	開業までの準備・スケジュールの立て方を知る
4	サロン開業シュミレーション	サロン開業シュミレーションディスカッション　グループワーク　模造紙に自分たちの考えるサロン開業をシュミレーション発表
5	広告宣伝	広告宣伝について学び、自分たちのサロンをどのように広告していくか考える。 実際に前回のサロンを宣伝するための広告を作り発表する。
6	サロン業務の流れ	サロンの1日の流れを把握する。サロンなどの施設があれば実際にシュミレーションを実施。
7	様々な管理	現金・在庫・カルテ管理などについて学ぶ　サロン環境について
8	成績評価①	p.1～21まで筆記試験
9	サロン繁栄のための顧客管理	CS　顧客心理　接客マナーのシュミレーションとロールプレイ
10	お客様とのコミュニケーション	カウンセリング及び電話対応　ホスピタリーマインド・言葉使いについて

11	クレーム対応	クレーム対応について学び、ケースワークで実際に対応してみる。
12	サロン繁栄のための技術管理	スタッフ一人一人が統一された技術レベルを持って施術をする為に サロンでどのような取り組みが必要かを知る
13	成績評価②	p.22～40 範囲を筆記試験
14	サロン開業シュミレーション	2年生になった際に実際運営するサロンの想定・技術メニュー・広告について準備する
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	15
使用教材	新エステティック学/理論編Ⅰ/筆記用具/ノート/エステティシヤンのためのエステティックカウンセリング(エステのみ)			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	一人ひとりの心や体の悩みの相談に応じて人間的な理解を深めて、悩みを解決へと導く心理学に基づく療法を理解する。				
到達目標	エステティックに関わる法律を理解し、安全に施術を行うことができる				
評価基準	筆記試験①②60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定エステティシヤン・上級認定エステティシヤン 認定フェイシャルエステティシヤン 認定ボディエステティシヤン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅠ・プロフェイシャルⅠ・プロボディⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	原尻 奈都美 他1名			実務経験	○
実務内容	サロンにてエステティシヤンとして勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステティックカウンセリングⅠ・オリエンテーション	オリエンテーション
2	カウンセラーの役割	1. カウンセリングとコンサルティング 2. 「ソワソワエステティック」の担い手として 3. 悩みを解決へと導く心理学療法 4. ストレスにより「ホメオスタシス」も低下 5. エステティックサロンに求められているもの
3	心のメカニズムと顧客心理	1. 「意識」「情動」「欲求」 2. 「顧客心理」四つのポイント 3. 聞き上手になろう 4. 話し上手になろう
4	カウンセリングの流れ 1	1. 受付での対応 2. ビフォーカウンセリング
5	カウンセリングの流れ 2	3. 施術中のカウンセリング 4. アフターカウンセリング 1～4 小テスト
6	筆記試験	カウンセラーの役割・心のメカニズムと顧客心理 成績評価①
7	カウンセリングの実際 1	1. サロン内の環境 2. コンサルテーションシート フェイシャル・ボディメニュー・技術選択の考え方
8	カウンセリングの実際 2	3. 肌性及びトラブルに対する判断 4. 体型と体質の判断 5. カウンセリング機器
9	カウンセリングの実際 3	フェイシャルケース 1 (さまざまな肌状態 皮膚学Ⅱがすべて終了している)

10	カウンセリングの実際 4	フェイシャルケース 2 (さまざまな肌状態 皮膚学Ⅱがすべて終了している)
11	カウンセリングの実際 5	ボディケース 1 (循環器系 生理学Ⅱが終了している)
12	カウンセリングの実際 6	ボディケース 2 (肥満・中高年の栄養 栄養学Ⅱで終了している)
13	カウンセリングの実際 7	肌分析・体分析 ケース①
14	カウンセリングの実際 8	肌分析・体分析 ケース②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ・エステティシヤンのためのフェイシャル技術理論・クリエヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	トラブル別に使用する化粧品・機器を理解し、その使用方法・注意事項・禁忌事項を学び肌の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける				
到達目標	エステティシヤンとしての接客マナーを実践し、クライアントの状態・目的に合ったディープクレンジングを安全に行うことができる				
評価基準	実技試験80%(成績評価全4回実施)授業態度・提出物20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシヤン AJESTHE認定上級エステティシヤン				
関連科目	皮膚学Ⅱ・生理学Ⅱ・エステティックカウンセリングⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松島 真由美 他2名			実務経験	○
実務内容	(株)テストワールドでエステティシヤンとして勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プロフェイシャルⅠ オリエンテーション	前期復習・オリエンテーション
2	ポイントメイククレンジング 形状別クレンジング剤	形状別クレンジング剤の使用方法について ポイントメイククレンジング
3	ディープクレンジング(粒子有・無し)	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項/ディープ洗顔(粒入り・無し) 練習: フェイシャルマッサージーマスクーふき取りー誘導
4	ディープクレンジング(酵素)	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項/スチーマー・ディープ洗顔(酵素) 練習: フェイシャルマッサージーマスクーふき取りー誘導
5	ディープクレンジング 練習	ケースワーク
6	実技試験	ケースワーク成績評価①
7	ディープクレンジング(ブラシ・ キッシング)	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 フリマトール、キッシング
8	ディープクレンジング(電気)	ディープクレンジングの目的・使用目的と禁忌事項 エレクトロクレンジング・ディスインクラステーション

9	ディープクレンジング 総合	ケースワーク
10	実技試験	成績評価②
11	ディープクレンジング総合	ディープクレンジング総合
12	スキンチェック	クレンジング後のスキンチェック方法導入
13	ケーストレーニング	肌分析 ケースワーク
14	ケーストレーニング	肌分析 ケースワーク
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロボディⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	3	60
使用教材	クリエース化粧品セット・タオル類・消耗品類、備品類・採寸用メジャー、新エステティック学 技術編Ⅰ・理論編Ⅲ、エステティシヤンのためのボディ技術理論		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	全身のマッサージを学び、採寸から分析しクライアントに合わせたマッサージを提供する。注意事項・禁忌事項を学び身体の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける				
到達目標	エステティシヤンとしての接客マナーを実践し、クライアントの状態・目的に合った手技を組み合わせたマッサージを行うことができる				
評価基準	実技試験80%(成績評価全2回実施)授業態度10%、提出物10%(コンサルテーションシート、ノート、プリントなど)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシヤン ajeste認定上級エステティシヤン				
関連科目	皮膚学Ⅱ・生理学Ⅱ・エステティックカウンセリングⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	日高 由美 他2名			実務経験	○
実務内容	エステティシヤン、アロマセラピストとして20年以上勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	前期の振り返り/前操作デモンストレーション
2	腰背部マッサージ 導入	デモンストレーション・手技・拭き取り
3	腰背部マッサージ 練習	通し練習 下肢後面～腰背部
4	下肢前面マッサージ 導入	デモンストレーション・手技・拭き取り
5	下肢前面マッサージ 練習	通し練習 腰背部～下肢前面
6	実技試験	成績評価① 腰背部～下肢前面
7	上肢マッサージ	デモンストレーション・手技・拭き取り
8	腹部マッサージ	デモンストレーション・手技・拭き取り

9	デコルテ・頭部マッサージ	デモンストレーション・手技・拭き取り
10	マッサージ総合	上肢～腹部～デコルテ・頭部
11	マッサージ総合	下肢後面・腰背部・下肢前面・上肢・腹部・デコルテ・頭部マッサージの不足箇所の練習
12	実技試験	成績評価② 総合
13	ボディチェック（採寸含む）	確認とボディチェック（視診・触診・問診）の デモンストレーション・実践 マッサージ練習
14	ボディチェックを含めた総合授業	確認とボディチェック（視診・触診・問診）の実践 コンサルテーション・マッサージ
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマセラピーⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマセラピーⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	2	30
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト1級 エッセンシャルオイル入門検定1級Aセット		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマセラピーの基礎知識、精油のプロフィール、トリートメント法、嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学、アロマセラピーに関わる法律問題・資格制度を学ぶ				
到達目標	アロマセラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる				
評価基準	筆記試験60％・精油小テスト20％・授業態度、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマセラピー検定1・2級				
関連科目	プロフェイシャルⅠ・プロボディⅠ・エステティックカウンセリングⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	日高 由美 他2名			実務経験	○
実務内容	エステティシャン・アロマセラピストとしてエステサロンで20年以上勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	アロマセラピーオリエンテーション 第1章 イントロダクション	・アロマセラピーとは・精油とは ・仲間同士の植物の特徴
2	第2章 エッセンシャルオイル	・精油の持つ性質、作用、抽出方法 ・精油のプロフィール（イランイラン クラリセージ グレープフルーツ）
3	第2章 エッセンシャルオイル 第3章 セーフティ	・精油の選び方、自然環境との関係、 ・安全に使うための心がけ ・精油の作用・精油のプロフィール（サイプレス・サンダルウッド・ジャーマンカモミール）
4	第4章 プラクティス 1	・注意すべき対象者、保管方法 基材について ・精油のプロフィール（ジャスミン・ジュニパーベリー・スイートオレンジ）
5	第5章 メカニズム 筆記試験	・精油が心身に伝わる仕組み 成績評価①
6	第6章 ビューティー＆ヘルスケア	・睡眠、ストレス、女性ホルモン、スキンケア ・精油のプロフィール（スイートマジョラム・ゼラニウム・ティートリー）
7	第7章 ヒストリー 1	・アロマセラピーの歴史（エジプト、ギリシャ、ローマ、インド、中国） ・精油のプロフィール（ネロリ・パチュリ・ブラックペッパー）

8	第7章 ヒストリー 2	・アロマセラピーの歴史（アラビア・イスラム社会、中性ヨーロッパ、日本） ・精油のプロフィール（フランキンセンス・ペチパー・ペパーミント）
9	第7章 ヒストリー 3	・アロマセラピーの歴史（近世～近代ヨーロッパ） ・精油のプロフィール（ベルガモット・ベンゾイン・ミルラ）
10	第7章 ヒストリー 4	・アロマセラピーの歴史（現代 アロマセラピーの誕生） ・精油のプロフィール（メリッサ・ユーカリ・ラベンダー）
11	第8章 関連法規 1	・アロマセラピーを楽しむために知っておきたい法律 ・精油のプロフィール（レモン・レモングラス・ローズ）
12	第8章 関連法規 2	・アロマセラピーを楽しむために知っておきたい法律 ・精油のプロフィール（ローズオットー・ローズマリー・ローマンカモミール）
13	第4章 プラクティス 2	・アロマセラピーの利用法（紹介のみ）
14	コラムまとめ 筆記試験	・各章にあるコラムの部分でアロマセラピーの活用や知識の幅を広げる 成績評価②（第1章から題8章まで）
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	メイク＆ネイル		
必修選択	選択	(学則表記)	メイク＆ネイル		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	30
使用教材	【メイク】メイク道具一式・メイクアップテキストベーシック・問題集【ネイル】JNAテクニカルシステム・ベーシック・ネイル用具一式		出版社	【メイク】ユアサポート 【ネイル】NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【メイク】前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す 【ネイル】エステ検定試験内でのネイル技術を学び実践でき、さらに基礎に加えてJNA2級課題である爪の補修・補強を学ぶ				
到達目標	【メイク】メイクの基礎技術から、フルメイクまで出来るようになる 【ネイル】エステ検定試験内でのネイル技術をマスターし、JNA2級取得が出来る技術				
評価基準	【メイク】テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20% 【ネイル】実技テスト30%、筆記テスト30%、3級検定結果30%、宿題及び授業態度他10%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	【メイク】メイクアップ検定ベーシック 【ネイル】JNECネイリスト検定3級・2級				
関連科目	【メイク】検定メイクⅠ、検定メイクⅡ、ヘア＆メイク、パーソナルメイク 【ネイル】生理学・皮膚学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	徳永 聡子 他1名			実務経験	○
実務内容	ネイルサロンで勤務経験有。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数		単元	内容
1	メイク	フルメイク/座学	検定試験に向けて試験概要の伝達 フルメイク(ソフト)
	ネイル	検定実技(タイムトライアル)	検定に向けての総仕上げ(筆記・実技とも) 過去問題・模擬問題を配布して解答を解説
2	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
	ネイル	検定実技(タイムトライアル)	検定に向けての総仕上げ(筆記・実技とも) 過去問題・模擬問題を配布して解答を解説
3	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ)
	ネイル	検定実技(タイムトライアル)	検定に向けての総仕上げ(筆記・実技とも) 過去問題・模擬問題を配布して解答を解説

4	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
	ネイル	プレパレーションデモリペア (シルクラップ) デモ、実技	爪の補修・補強及びチップによる長さだしの技術を学ぶ
5	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの)
	ネイル	リペア (シルクラップ) 相モデル	爪の補修・補強及びチップによる長さだしの技術を学ぶ
6	メイク	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
	ネイル	チップラップ デモ・実技	爪の補修・補強及びチップによる長さだしの技術を学ぶ
7	メイク	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う)
	ネイル	リペア (チップラップ) ・オフ、相モデル	オフ・爪の補修・補強及びチップによる長さだしの技術を学ぶ
8	メイク	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
	ネイル	ケアカラー (エステの認定試験対応)デモ	エステの認定試験内で行われるネイルの実技試験内容を学びマスターする(時間30分)(ハンド・フット両方) ケア(プッシュアップはオレステ使用)・トリートメント・カラーリング(クリーム系の透けない色)
9	メイク	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
	ネイル	ケアカラー相モデル	エステの認定試験内で行われるネイルの実技試験内容を学びマスターする(時間30分)(ハンド・フット両方) ケア(プッシュアップはオレステ使用)・トリートメント・カラーリング(クリーム系の透けない色)
10	メイク	錯覚	錯覚について導入、実践
	ネイル	フットケア説明・デモ	エステの認定試験内で行われるネイルの実技試験内容を学びマスターする(時間30分)(ハンド・フット両方) ケア(プッシュアップはオレステ使用)・トリートメント・カラーリング(クリーム系の透けない色)
11	メイク	フルメイク	ネイル → 色、質感について導入、実践 エステ → メイク対策
	ネイル	フットケアカラー相モデル	エステの認定試験内で行われるネイルの実技試験内容を学びマスターする(時間30分)(ハンド・フット両方) ケア(プッシュアップはオレステ使用)・トリートメント・カラーリング(クリーム系の透けない色)
12	メイク	フルメイク	メイク対策
	ネイル	フットケアカラー相モデル	エステの認定試験内で行われるネイルの実技試験内容を学びマスターする(時間30分)(ハンド・フット両方) ケア(プッシュアップはオレステ使用)・トリートメント・カラーリング(クリーム系の透けない色)
13	メイク	フルメイク	メイク対策についてのテスト
	ネイル	筆記試験・実技練習	授業の総復習として試験を行う
14	メイク	フルメイク	メイク対策についてのテスト
	ネイル	実技テスト (ケアカラー)	授業の総復習として試験を行う
15	—	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	15
使用教材	ノート・筆記用具			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	終章対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身に着ける				
到達目標	就職活動に向けて準備・行動ができる状態				
評価基準	テスト：30% 提出物・課題：40% 授業態度：30%				
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	原尻 奈都美 他1名			実務経験	○
実務内容	サロンにてエステティシャン・セラピストとして勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職対策について	これからの流れについて
2	社会人に向けて	求められる人材について考える
3	職種について考える	業種理解①（美容師・アイリスト・ネイリスト）
4	職種について考える	業種理解②（ブライダルスタイリスト・ヘアメイクアップアーティスト）
5	希望職種について考える	コース分けアンケート
6	求人票の見方・自己分析について	求人票の内容を理解し、就職希望条件を分析する（勤務地・給料・福利厚生など）
7	コースG・サロン実習について	各コースの特徴・サロン実習の目的と意義、今後の流れについて
8	希望サロンの探し方	希望サロンの探し方（ピックアップについて）、企業研究の仕方
9	サロン見学について	サロン見学の目的と必要性

10	見学申し込みとマナー	電話のかけ方、見学時のマナーについて
11	実習・就職アンケート (コース分け)	実習希望先決定、就職希望先・コースG (アンケート最終)
12	小テスト	小テスト
13	将来につなげる夏休みの過ごし方	課題について
14	就職対策テスト	就職対策テスト・課題回収
15	就職アンケート	就職アンケート実施、自己紹介書の落とし込み

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	15
使用教材	ノート・筆記用具			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身に付ける				
到達目標	就職活動に向けて準備・行動ができる状態				
評価基準	テスト：30% 提出物・課題：40% 授業態度：30%				
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	原尻 奈都美 他1名			実務経験	○
実務内容	サロンにてエステティシャン・セラピストとして勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 後期就職対策の流れ	授業の目的・到達目標について
2	履歴書作成	履歴書作成におけるルールについて
3	自己紹介書	自己紹介書作成におけるルールについて・下書き作成
4	自己紹介書②	下書き～完成まで
5	自己紹介書③	完成
6	スーツ・髪色チェック	自己紹介書、履歴書に添付する写真撮影用のチェック
7	企業研究	求人票の見方・企業研究の仕方について
8	模擬面接導入	模擬面接について・入退室のマナー
9	模擬面接練習	入退室から受け答えまで

10	模擬面接練習②	通し練習
11	模擬面接	成績付けテスト
12	企業研究②	受験希望先を探す
13	履歴書作成②	下書き作成
14	履歴書作成②	下書き作成
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅠーⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅠーⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	・ 社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・ 相手の立場に立った物の考え方ができる ・ 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	・ 実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅠ－Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅠ－Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	・ 社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・ 相手の立場に立った物の考え方ができる ・ 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	・ 実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅠ－Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅠ－Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	・ 社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・ 相手の立場に立った物の考え方ができる ・ 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	・ 実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅠ－Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅠ－Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	エステティック科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	・ 社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・ 相手の立場に立った物の考え方ができる ・ 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	・ 実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					